

保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 2月 1日

事業所名 西紋子ども発達支援センター

保護者等数（児童数）42 回収数 27 割合 64.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	3					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	9			・最近、作業療法士の資格を持つ先生が入られて、子供達にとって今までよりきめ細やかな療育を受けられることと期待しています。なかなか難しいかもしれませんが、理学療法士の先生も入ると、なおいいなあと思います。 ・わかりません。	・作業療法士については、現在、研修もかねて、少しずつ療育に入らせていただいております。さらに専門性の向上を目指し、3月には旭川子ども総合療育センターでの実習も予定しております。その際、言語聴覚士も一名実習する予定です。 ・理学療法士については、現状としては、旭川子ども総合療育センターの地域療育支援に頼る所となっております。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	26	1			・わかりません。	・お気づきのことがございましたら、職員までお知らせください。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（注1）が作成されているか	27				・計画にそって指導を行ってくれているので、家庭だけでは補えない部分もあつたりで、指導によって成長していく面も見れて助かってます。		
	5 活動プログラム（注2）が固定化しないよう工夫されているか	26	1			・似たような内容でも、工夫してその子が楽しく出来るように指導してくれてる為良いと思います。	・活動プログラムについては、同じ内容でも、おさんに合わせてねらいを変えるなど、その子に合わせた活動となるよう職員一同で考えております。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	10	14		・無くても良い ・スケジュール調整やコロナの関係で難しいかもしれませんが、実現出来ればと思います。 ・コロナ禍にあって、人との交流はあまり無い。 ・わかりません。 ・まだそういった交流をしたことが無いためわかりません。	・児童館等との交流の機会は現在設けておりません。 当センターの通所児童数は、令和5年2月1日現在で93名の方の療育を行っております。加えて、早期につながることを目的とした療育体験会を実施している他、就学に向けた教育相談にて適切な学びの場の選択に向けた知能・発達検査を実施しています。そのため、療育を最優先するため、現段階では考えていません。	
保護者 への 説明 責任等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	3			・通っている児童の姉弟が一緒に行くことがあって、中々指導してる所を直接見る事が出来ないこともあつたりするので、先生から話を聞けるのは助かります。		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27						
	10 父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	15	3		・コロナ禍にあって、人との交流はあまり無い。 ・わかりません。 ・まだセンターに入ってから保護者会などやったことが無いため分かりません。	・肢体不自由児、情緒障害児、ことばを育てる親の会があります。活動内容については親の会の自主的な活動となっております。おり、事務局として運営の支援を行っています。ご興味がある方は、お声掛けください。 ・センター内のフリールームが、保護者同士の交流の場でもありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的に保護者の皆様同士の交流を促したり、飲み物の用意ができなくなっています。	
11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	6			・わかりません。	・第三者委員会を設けており、苦情の受付については、常時行っております。現状としては、苦情等が発生した事例はありません。		

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	1			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	6			
	14	個人情報に十分注意しているか	25	2		・わかりません。	・個人情報については、配慮しております。関係機関と連携が必要な場合には、保護者の同意を得てから行っております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。	12	13	2	・マニュアルのファイルがあるのは知っていますが、対面での説明は無いように思います。 ・感染症に対する対応マニュアルは良く目にするが、防犯、緊急時のマニュアルはあまり目にしないうに思う。 ・わかりません。	・各種マニュアルについては、ホールの本棚に配置し、いつでも閲覧できる状態となっております。ただ、対面での説明と言う部分では実施できていない状況です。マニュアルについては、緊急対応マニュアル、感染症対策・衛生対策マニュアル、防火計画・火気取り締まり要項、虐待防止マニュアル、非常災害対応マニュアル等と多岐に渡るため、閲覧で対応していますが、希望される方がおりましたら、説明させていただきますので、お気軽に職員までお申し付けください。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	18	5	・よく分からない。 ・わかりません。	・非常災害に向けた訓練（避難訓練等）につきましては、年2回、実施しております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	25	2		・毎回楽しみにしています。逆に楽しすぎて「今日は行かないの？」って時があります。	
	18	事業所の支援に満足しているか	23	2	2	・1日、月に行える単位数や職員配置人数などがあると思いますが、もう少し時間か日数が多ければいいかなと思います。 ・可能であれば、ペアレントトレーニングのようなものをやってもらえるとうれしいです。	・就学にあたり座位を保つ体幹機能や集団活動でのコミュニケーション能力の訓練、ことばの訓練（語彙力含む）など療育頻度を高める必要があるため、年長児は毎週通所としています。 利用児童は増加しており、特に就学前の児童が毎月通所に繋がっている状況です。そのため、依然として年長児へ支援を集中せざるを得ない状況です。 さらに、平素の支援の他、保護者相談を兼ねた療育体験会や就学に向けた教育相談にて適切な学びの場の選択のための知能・発達検査等の業務が増えていること、児童数が増加していること等で回数の増は難しい状況です。 ・ペアレントトレーニングについては、受講経験がある職員がありますが、現状としては、個別で相談に乗っている状況となっております。

○この「保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。